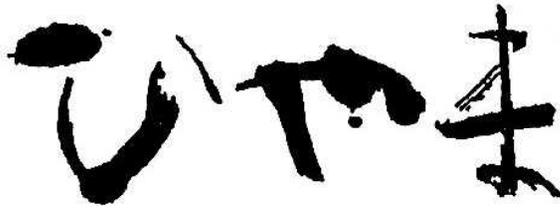


# 第13号

定価一年間300円

組合員の購読料は  
組合費に含む



発行

# 檜山教職員組合

〒043-0056 江差町字陣屋町86-1

TEL 0139(52)0858 FAX(52)1490

発行責任者 白山 尚

E-mail: hiyamakyoso@proof.ocn.ne.jp

# 今金町・江差町議会で採択

## 20人学級等の陳情・意見書



3つの意見書を採択した今金町議会が入る役場庁舎

ゆきとどいた教育をすすめる北海道連絡会には全道の市町村議会に対し、①「国の責任による『20人学級』を展望した少人数学級のさらなる

特別支援学校の設置基準がようやく制定されることになり、大きな一歩ですが、既存校には適用が猶予されるなどまだまだ不十分です。また、特別

「前進」②「特別支援学校の実効ある設置基準の策定及び特別支援学級の学級編制標準の改善」③「大学生等への給付奨学金制度の拡充」を求めた意見書採択を陳情してきました。この3つについて、檜山管内で今金町議会がすべての意見書を、江差町議会が①と②の意見書を採択しました。同連絡会への情報提供で明らかになりました。

### 3つの意見書に掲げられた要請事項

国の責任による『20人学級』を展望した少人数学級のさらなる前進

- 1、国の責任で、小学校、中学校、高校のすべてで「20人学級」を展望した、少人数学級をさらに前進させること
- 2、国は少人数学級実現のため、義務標準法・高校標準法を改正して教職員定数改善計画を立てること

特別支援学校の実効ある設置基準の策定及び特別支援学級の学級編制標準の改善

- 1、特別支援学校の実効ある設置基準を策定するとともに国の財政支援を拡充すること
- 2、特別支援学級の学級編制標準を改善すること

大学生等への給付奨学金制度の拡充

- 1、国は、教育予算を増やして、大学生等に対する給付奨学金制度を拡充すること



2つの意見書を採択した江差町議会が入る役場庁舎

## 子どもの自殺最多

### 「極めて憂慮すべき状況」文科省調査

2020年度の「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸問題」に関する調査結果が、10月13日に文科省より発表

自殺した児童生徒数(小・中・高) 415人 (2020年) 156人 (2010年)

### 「助けてほしいと叫ぶ社会を」

文科省は「極めて憂慮すべき状況」と危機感を募らせます。警察庁調査では子どもの自殺者は500人を超えます。把握されない事例もあるとされ、事態はいっそう深刻です。

自殺した子どもたちが置かれていた状況では「家庭の不和」や「精神障害」など様々な回答が並びま

「子どものストレスは大人が想像する以上にたいへん」「まずは受け止め、共感すること」「『助けて』とみずから出せる社会をつくっていくことが重要」などと説きます。文科省は、「予防等の取組促進」を掲げますが、社会の在り方を含めたより根源的な対応が求められます。

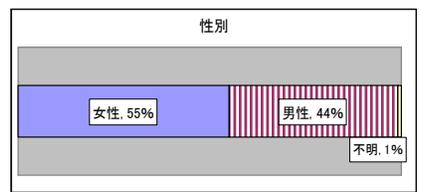
絶つ子どもは姿が浮かび上がります。専門家は、

支援学級の定数改善も切実です。一人ひとりの子どもが個人として尊重され、その発達成長が保障される条件整備は急務です。コロナ禍で休学を検討した学生が6割を超え、中退や退学を検討した学生も3割を超えると言われます。2017年からスタートした給付型奨学金も対象となるのはごくわずかです。教育の無償化は国際公約です。一刻も早い制度の拡充が求められます。

今回の管内2町での意見書採択の背景には、子どもや家庭、学校をめぐる厳しい実態や願いがあります。現下の教育全国署名のとりくみが重要です。ご協力をお願いします。

## 生活・健康・子育てアンケート ただ今21職場124人から

道教組と檜山教組の女性部がとりくむ「教職員健康・生活・育児アンケート」が集約最終盤を迎えました。これまで、管内21の職場から124人の方々が回答をお寄せくださいました。ありがとうございます。

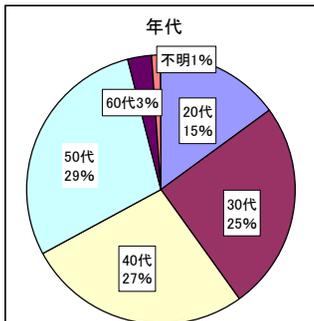


今年度から男性教職員へも実施、44%の方々からご協力をいただいています。(上グラフ) また、各年齢層からも相応の回答がありました。(下グラフ) 広く現場の実態と実感が盛られるとりくみとなりました。

「夫婦で協力して育児に当たりたいが…」「支援員としてのつらさ・悔しさがある」といった「声」も散見され、全教職員を対象にした意義が浮き彫りになります。

セクハラ・パワハラに関する回答が一定数あります。きちんと解決されなければならない問題であり、その仕組みも含め要求交渉に反映する予定です。

全体集約された後、結果を明らかにしていきます。



願いをまとめ要求交渉に反映します。



特別支援教育分科会

# 悩みも聴き合って

## 檜山合同教育研究オンライン集会

分科会  
討論から

### 特別支援教育 分科会

前号からの続きです。特別支援教育分科会と養護教諭分科会の様子をお伝えします。

特別支援教育分科会には4名が参加、2本のレポートが発表されました。

市来成子さん(上小)は、言葉が困難な子どものかかわりについて報告。子どもの特性やこだわりに着目し、一日の過ごし方を写真で順番に提示したり、給食盆にメニューをイラストで表示し完食すると満点になる方法などを考案し実践します。課

# 実態と願い すりあわせ

養護教諭分科会には6名が参加し、2本のレポートが発表されました。

十河久美子さん(南小)は、コロナ禍の実態と保健室運営について報告しました。健康診断では、コロナ禍での注意点も含め検査の意義や方法についての指導を大事にします。コロナ禍における子どもたちの生活・健康

### 養護教諭分科会

一人ひとりの子どもの特性に合った方法を探り、保護者とも一緒に考え、一致点を広げていく力点を確認していました。



養護教諭分科会

見をどう乗り越えていくかなど、重厚なテーマで学び合う姿が伝えられました。討論では、保健室運営をめぐるとりくみや課題についても話題に。具体的に、掲示活動の工夫などが交流され、専門誌や情

題をクリアすることに喜びを感じるようになったと言います。遠藤美由樹さん(北小)は、副担任・特別支援コーディネーターとしてできることを振り返り、教材づくりや授業づくりを一緒にやりながら子どもへのかかわりを共有していきます。支援員日誌の読み合いや交流会議も重視します。学校全体を見渡し、みんなで育てる方向を大事にしたいと強調しました。

状況の調査について紹介。事前の「生活チェックシート」の活用で、子どもたち一人ひとりが自分の生活を見直すきっかけになったと言います。一人職種である養護教諭の「心得」についての言及もあり、示唆的でした。押見みゆきさん(乙小)は、性教育のとりくみについて、これまでの実践を報告しました。男女の性差やジェンダーについての学習を基礎にセクシュアリティについての理解と実践(生き方)を展望した内容です。学習を通じて、性差別と向き合うか、性的マイノリティへの理

### 閉会あいさつ・小菅正勝副会長



## 大事な何かを確かめる場

各分科会で有意義な交流ができた。終わって、若いときから組合に参加し、合研で学んできた。終わって、毎回の良かったなという事後感が残る。明日からまたがんばれそうだと先輩組合員がよく口にしていた。エネルギーがチャージされていくのを感じる。こういう形でも続けられるということに価値がある。

日々の仕事は正直言って疲れる。教育情勢を見渡せば、効率よく、伝えていきたい。

### 檜山合研 山根さん 実践報告 視聴者感想

# 子どもたちが捉えた学びの創造

山根実践への感想の続報。分析的な内容が実践の意義を明らかにしてくれます。

子どもを丸ごと捉えようとしている。「日常の子どもたちとの関係がこの実践を生み出した」という同僚のコメントからもわかる。過去のスペイン風邪のことに触れた町の広報誌に目を止め、学びに生かそうとするとセンスが新鮮。同僚の支えも子どもへの意欲をかき立て、共同が生きる学

心のひだに刻まれる「なつかしさ」という感情は、時に人生の支えとなると言われる。上ノ国を「舞台」に仲間とともに学び、創り上げた演劇。それに費やした豊かな時間は子どもたち一人ひとりの心に「なつかしさ」として刻まれたに違いない。それは、単なる「資質・能力」に回収されない、人間として生きる上での根本に居座るものではないか。山根実践の意味を多くの教育関係者と分かち合いたい。

## 「差」を埋める共同の営みを

### GIGAスクール

6 最終

ICT機器の配置・管理・使用などで教職員に多くの負担がかかっています。ていねいな対応をすすめる必要があり、そのため教職員増が求められます。ICT活用に関して、教職員の世代間による捉え方や機器への対応技能等に違いがあると言われます。すべての教職員が共同して取り組めるよう

必要な研修環境や集団的な議論の場の確保が大事になります。道教組はこの間、全道の教職員と協議を重ね、このほど学習資料用

### 道教組・学習資料リーフレット GIGAスクール構想で 私たちが考えること

2021.9 全北海道教職員組合

リーフレットは道教組より入手できます。詳しくは道教組ホームページで。

GIGAスクールで生まれた「差」を分断しないためには、「大切にしたい教育とはなにか」と考え合うことが何よりも大切です。職場ぐるみで、こうして教育観を語り合うことが、子どものことを考えて実践したり、子どもたちが共に学び合う姿を創り出したりする意識を大切にすることにつながるでしょう。